

つるおか芸文だより

2年ぶり鶴岡市芸術祭開幕

— 開幕記念公演は延期に —

「第16回鶴岡市芸術祭開幕式典」が、9月5日(日)に荘銀タクト鶴岡小ホールに於いて開催された。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、市芸術祭が中止となったため、2年ぶりの芸術祭の開催となる。

今年度は、第16回鶴岡市芸術祭開幕行事について、「芸術文化でつむぐ鶴岡物語」(拓く)をテーマに掲げ、式典と併せて初めて記念公演を実施する予定としていたが、コロナ感染拡大の影響から、規模を縮小して式典の



2年ぶりの開催となった鶴岡市芸術祭開幕式典

みを挙行、記念公演については開催を延期とした。

式典当日は、ご来賓、市教育委員会、芸文協役員等関係者のみとし約40名が参加した。

主催者挨拶として、布川敦教育長が「感染防止に留意して、多くの市民の皆様の鑑賞する機会となり、実り多い芸術祭となる事を祈念している」と述べ、東山昭子芸文協会長が「コロナ禍のなか、開催できた喜びを皆さまと分かち合い、真心と思いをもちつづけて繋いでいき、芸術祭を成功に導きたい。」と述べられた。

また、ご来賓を代表して、皆川治市長よりご祝辞をいただき、続いて関係者によるテープカットが行われ、コロナ禍に於いて2年ぶりの開催となる芸術祭の幕明けを祝った。

なお、今年の芸術祭は8月31日に開幕の白鷺社展を皮切りに、11月28日までの約3カ月に渡り開催される。



芸術祭開幕を飾る開幕式典テープカット
(布川教育長・皆川市長・本間市議会議長・東山芸文協会長)

「忠恕」の心で

明日を拓こう!!



特定非営利活動法人
鶴岡市芸術文化協会

会長 東山 昭子

高く澄んだ秋空のもと、コンパインがあちこちで軽やかな響きを立て、刈入れが進んでいます。9月5日、皆川治市長・本間新兵衛市議会議長・酒井忠久致道博物館館長を始めとする当会顧問、小林達夫芸術祭賞選考委員長などご来賓各位を迎え、コロナ禍の下、細心の注意をしながら開幕式典を開催致しました。

前日、県民芸術祭の開幕式典と記念公演が、2年続いて中止される事態であったので、第1回記念公演は延期したものの、ともかくも出発できたことを喜び合いました。長く続くコロナ感染で、練習会場さえ確保の難しい状況が続いています。出演者の自粛や子どもたちへの配慮、地区外会員の参加辞退など、容易でない中で、万全の予防措置を講じながら、それでも中止か延期か、催行の決断などに、絶えず緊張を強いられる責任者の心労を思い遣っています。城下町鶴岡の市民倫理を支える「忠恕」(真心と思いやり)を以って、美と愛の感動を共有する「芸術」の泉を涸らすことなく、心豊かな、何事にもオンリーワンの最高を究める、輝きに満ちた時間をご一緒したいと願っています。子どもたちの明日を大切に、この地の良さに感謝しながら、閉幕の集いまで、よろしくお力添え下さい。「しなやかに、したたかに」現況をガンバリ抜きましょう。「忠恕」の発現を祈念しています。

コロナ禍が続く中で通常総会が開催される

2年ぶりの芸術祭開催を決定

開幕行事として初めて記念公演を実施

令和3年度特定非営利活動法人鶴岡市芸術文化協会通常総会は、令和3年5月27日、荘銀タクト鶴岡小ホールで開催された。

昨年は、新型コロナウイルスの影響から書面による参加を呼びかけ、小数での開催となったが、今年は2年ぶりに皆川治鶴岡市長はじめ多くの来賓、顧問をお迎えし、加盟団体代表の参加と合わせ約80名出席しての総会となった。

東山会長はあいさつで「新しい出発の年度、文化会館指定管理の一翼を担い、間もなく策定の市文化芸術推進計画を實踐し、日々新たにクリエイティブな芸文活動を展開しながら、



タクトで初めて開催した通常総会

次の世代へつないで長く続く文化都市鶴岡を築いていこう」と呼びかけた。
総会では、令和2年度事業活動報告並びに決算報告、令和3年度事業活動計画並びに活動予算、役員任期に関する定

款の変更が原案どおり可決承認された。

今年度の事業活動計画には、芸術祭を2年ぶりに開催、開幕行事として新たに記念公演の実施、次世代の育成支援として「こども文化クラブ」事業の継続、事業内容の情報共有と新規会員の加入促進、文化会館指定管理初年度として適切な管理運営に努めるなどが盛り込まれた。

総会に先立ち、永年芸術文化協会の方へ功労者賞を授与した。

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会役員

会長	東山昭子
副会長	後藤和夫
副会長	小崎健太郎
副会長	柿原泰裕
副会長	榊原賢一
副会長	梅津芳春
理事	渡部千代子
理事	高山正喜
理事	難波正薫
理事	三井一彦
理事	渡部美典
理事	佐藤真由美
理事	渡部康
理事	松本武雄

令和3年度 事業活動計画

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで

本年度は新たに制定される、鶴岡市文化芸術推進基本計画の趣旨を活かし、会員の一層の意識高揚と融和強調を図り、本市の文化芸術振興のため鋭意努力する。

1 事業実施の方針

- 令和3年度第16回鶴岡市芸術祭を事業の中心に据え、開幕行事として新たに記念公演を開催し、市民の芸術文化活動の振興および拡大を図る。
- 若い世代の育成支援として文化芸術の継承発展のため「こども文化クラブ」事業を推進する。
- 本法人の事業内容の周知・広報に努め、情報共有と新規会員の加入促進を図る。
- 鶴岡市文化会館の指定管理者（タクトつるおか共同企業体）初年度として、文化会館の適切な管理運営に努め、芸術文化の振興に寄与する。

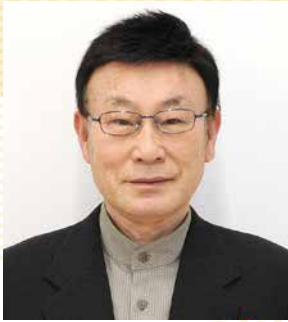
2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容
1 芸術祭の開催事業	● 第16回鶴岡市芸術祭の開催 (鶴岡市教育委員会との共催) ● 第16回鶴岡市芸術祭開幕行事 (式典・記念公演)の開催
2 芸術文化創作活動、発表活動の振興事業	● 芸術文化活動、交流への支援としての後援承認等
3 加盟団体、会員相互の連携、交流・顕彰事業	● 功労者表彰規定に基づく表彰
4 次世代の育成事業	● 市補助事業として「こども文化クラブ事業」の実施
5 会報発行等の広報活動事業	● 会報「つるおか芸文だより」の発行(年2回) ● 本会ホームページの運用
6 文化施設の整備促進、利用促進、管理・運営事業	● 鶴岡市文化会館の管理運営業務の受託(指定管理)
7 各種芸術、文化に関する発表会、公演会等の共催、後援事業	● 会員が主催・共催する発表会、展示会および全市芸術的文化事業への協力(共催・後援)
8 その他目的達成に必要な事業	● 庄内地区芸術文化懇談会への参加 ● 鶴岡市文化基金協議会運営への協力 ● 市内芸術文化活動未加盟団体等の情報収集

鶴岡市芸術文化協会 功 勞 者 表 彰 (令和3年度)

芸文協の運営・振興に貢献された3名の方々



功 勞 者 賞

長年、劇団の役者や演出など精力的に演劇活動を続けられたのち、平成元年に独自の活動を求めて「表現舎刻一刻」を設立、平成4年には大衆演劇部門として「劇団夢一座」を併設し、古典演劇、大衆演劇と幅広い活動を展開されるなど、演劇を通して芸術文化の振興に多大な貢献をされました。

表現舎刻一刻代表
佐藤 正 一 氏



功 勞 者 賞

日本九重流鶴城清吟会会長として会員相互の融和を図り、教場長として詩吟を広め、吟詠指導に熱意を傾けてこられました。また、大会の構想や進行、舞台転換など、豊かな経験に基づき指導の成果が現会員へ引き継がれ、詩吟の普及発展に多大な貢献をされました。

前日本九重流鶴城清吟会会長
現日本九重流詩吟学会会長
佐藤 泰 彦 氏
(万洲)



功 勞 者 賞

池坊鶴岡地区代表として七流派合同華展への参加運営に携わるとともに、小学校で生け花教室を開設し、伝統文化いけばなの啓蒙活動に尽力されました。また、池坊酒田支部執行委員としても活躍され、華道の普及と発展に多大な貢献をされました。

前池坊鶴岡地区代表
前池坊酒田支部執行委員
菅原 紀 子 氏
(静紀)

第44回山形県芸術文化協会賞



小林 功 氏 (前白甕社委員長)
受賞対象 詩集「月山の風」

詩集「月山の風」は、44年にわたって詩人の目で画業に携わってきたことを示す快著である。画家としての審美眼で捉えられた鳥海、月山の風景を言葉によって美しく表現し、清々しい作風で迷いがなく、自己の人生哲学を下地にして詩作品へと昇華している。また水彩画・イラスト・随想と詩を融合し、地元鶴岡の土を踏みながら大いなる自然賛歌を詠いあげた。

東山 昭子 氏

山形県芸術文化協会
副会長へ就任

当会会長の東山昭子氏が、令和3年度より山形県芸術文化協会副会長へ就任されました。

任期は、令和3年度～4年度となります。

氏 名	担当部門
小林 達夫	邦楽、日舞、民謡、民舞、吟詠
後藤 和夫	邦楽、日舞、民謡、民舞、吟詠
小林 功	邦楽、日舞、民謡、民舞、吟詠
小林 健郎	邦楽、日舞、民謡、民舞、吟詠
堀 公明	洋楽
藤間 静貴久	洋楽
伊達 克夫	洋楽
佐藤 晃	洋楽
梅津 芳春	洋楽
佐藤 政一	洋舞、演劇
市川 清治	洋舞、演劇
五十嵐 悦郎	洋舞、演劇
佐藤 宗倅	展示、華道
小林 良市	展示、華道
日向 常浩	展示、華道
佐藤 よし子	展示、華道
柿崎 泰裕	展示、華道
佐竹 美津子	展示、華道
齋藤 健太郎	展示、華道
榊原 賢一	総括(事務局長)

第16回鶴岡市芸術祭賞
選考委員

令和3年度 こども文化クラブ事業について

◎こども文化クラブ事業の計画

次世代育成事業の大きな柱でもある「こども文化クラブ事業」は、今年度も鶴岡市総合型文化クラブ事業の助成を受けて実施するもので、子どもたちが芸術文化に触れ親しむ機会を通じて、豊かな心と感性を育み、次の世代へ繋がっていくことを期待している。

コロナ禍が続いているなかで感染防止に配慮しながら、文化クラブ事業のスタートとして市中央公民館との共催で、市内全域の小学校児童を対象にした体験講座（短歌、琵琶、生け花）を6・7月に開催した。

また、地域の放課後子ども教室と連携した講座は、昨年度と同じ8地区の子ども教室で、6月から来年1月まで13分野59回の実施を予定している。8月下旬から9月中旬にかけて、コロナの急速な感染拡大を受けて市内に特別警戒が出されたことから、その間の事業は延期することとし、日程を再度調整しながら実施していくこととしている。



【油絵】西郷放課後子ども教室



【琵琶】市中央公民館

事業内容

る。

講師やアシスタントとして関わっていただく加盟団体の皆さんには、コロナ禍の事業で様々な難しい面もありますが、是非ご協力をお願いしたい。

1 鶴岡市中央公民館共催事業

①実施日 6月12日、6月26日、7月10日

②分野 短歌、琵琶、生け花

③会場 鶴岡市中央公民館

2 放課後子ども教室連携事業

①実施日 令和3年6月から令和4年1月まで

②分野 短歌、俳句、ちぎり絵、造形、絵画、尺八、文化箏、民話、音楽、フラダンス、演劇、茶道、華道

③会場 放課後子ども教室開設場所（8地区）上郷、三瀬、由良、大山、西郷、櫛引西、湯野浜、鼠ヶ関

鶴岡市文化会館指定管理の初年度に期待

今年4月から鶴岡市文化会館（荘銀タクト鶴岡）の管理運営が指定管理に移行し、鶴岡市芸術文化協会がその一翼を担っている。

鶴岡市開発公社と2者で構成した「タクトつるおか共同企業体」が、指定管理者として、今後5年間（令和3年度～7年度）文化会館の管理運営を行うこととなる。各々が有する専門性を生かし、相互に補完連携しながら、管理運営の6つの基本方針「活動・育成・創造・鑑賞・発信・交流の拠点」に基づいて最適な運営に努めていく。

文化会館では現在、開発公社職員9名と芸術文化協会職員4名が運営

スタッフとして従事している。開館準備から運営支援業務に関わってきた当協会職員は、その経験や専門性を活かしながら、チームマネージャーを中心に事業部門の企画運営や貸館業務等を担当する。

指定管理初年度にあたり、これまでの管理運営業務の円滑な継承を基本としながら、専門性を生かした魅力ある事業の展開や市民目線での効率的な館の運営に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底を図り、安全安心な鑑賞環境の提供等に努める。そして、市民からより一層愛される「荘銀タクト鶴岡」を目指していきたい。



親子で楽しむ小さな音楽会



タクトライトアップ

写真提供：荘銀タクト鶴岡

文化芸術が
まちを
動かす

鶴岡市文化芸術推進基本計画

このたび、鶴岡市では文化芸術振興の方向性をまとめた「鶴岡市文化芸術推進基本計画」を策定しました。芸術文化協会の皆様には、令和元年度から2年間の策定期間にグループトークやアンケートにご協力をいただき、たくさんのご意見を頂戴し、計画策定の参考としています。計画の概要と今後の推進について紹介します。

多様で魅力的な

鶴岡の文化芸術

この計画は文学や音楽、美術などの芸術に加え、この土地で大切に守られてきた文化財や育まれてきた民俗芸能、伝統文化、茶道、華道、食文化を含む生活文化などを含めた多様で魅力的な鶴岡の文化芸術を対象としています。

また、文化芸術は年齢や生活環境、障害の有無にかかわらず、多くの人の社会参加を促すこと、観光やまちづくりなど様々な分野と関わり、まちを動かす力があるとして、目指す将来像を「文化芸術のちからで心豊かな鶴岡の未来を拓きます」としています。計画期間は令和3年度から7年度までの5年間となります。

他分野との連携と力の貸し合いが生み出す活力

計画は目指す将来像の基に、三つの基本方針で構成しています（下図参照）。計画に位置づけた新たな取り組みの一つに、昨年度荘銀タクト鶴岡で

開催した「鶴岡市民芸術フェスタ」のような年代や分野を横断した新たなアートプロジェクトの支援があります。また、「こども文化クラブ」の更なる充実をはじめ、高齢者や障害のある方に向けた新たな取り組み、まちづくり団体との連携など、芸術文化活動をする人たちが他の分野の人たちと連携し、力を貸し合うことで活力ある社会づくりを進めます。

計画推進に向けて開催

「つるおか文化部ミーティング」

文化芸術の振興を目的としたこの計画の達成度は、数値だけで評価できない部分もあるため、計画の進み具合の報告をするともに、市民の皆さんの日頃の活動報告や新たなアイデアを提案してもらう「つるおか文化部ミーティング」を関心のある方から自由に参加してもらい開催します。今年度は年度末に開催予定ですので、皆さんの参加をお待ちしています。

【鶴岡市教育委員会社会教育課】

目指す将来像 文化芸術のちからで心豊かな鶴岡の未来を拓きます

基本方針	施策の展開	主な新たな取り組み
伝統的な文化芸術の継承と活用に努めます	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域独自の文化資源の保存と活用 2 伝統的な地域資源の継承と活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○民俗芸能のデジタルアーカイブ化の促進と活用 ○鶴岡の食文化の文化財登録の検討 ○文化財の新たな活用検討
多様な文化芸術の創造と発展を目指します	<ol style="list-style-type: none"> 1 文化芸術を支える仕組みづくり 2 文化芸術活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化施設での次世代の育成 ○新たな活動を促すアートプロジェクトの支援 ○市民参加型の創作活動の支援
文化芸術の根づいた活力ある社会をつくります	<ol style="list-style-type: none"> 1 子育てと教育への活用 2 共生社会の推進 3 観光と交流への活用 4 産業への活用 5 地域社会への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化施設のアウトリーチ（出前授業）の充実 ○障害者作品活用の新たな展開 ○大規模な公演や芸術文化関係の大会などの招致 ○都市交流を契機にした地元アーティストの作品や工芸品の販路拡大 ○働く若者や学生、まちづくり団体などとの連携

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会 部門別加盟団体・地域芸術文化協会一覧 (66団体)

地域・部門	団体名称	代表者	電話	
地域	藤島芸術文化協会	阿部 義 郎	64-2111	
	羽黒芸術文化協会	齋藤 敬	62-2111	
	櫛引芸術文化協会	難波 正喜	57-2111	
	朝日芸術文化協会	渡部 祐子	53-2111	
	温海芸術文化協会	本間 庸枝	43-4611	
文芸	きたぐに短歌会	市川 照夫	22-2195	
	黄雞鶴岡歌会	東山 暁子	22-5991	
	稲京短歌会	佐々木 秀子	23-9665	
	俳誌「月山」鶴岡支部	阿部 月山子	64-5302	
美術	白鸞社	齋藤 拓	33-1073	
	鶴岡書道会	佐藤 政一	22-8810	
	畊雅会	阿部 律子	23-1323	
	鶴岡小品盆栽会	上林 節男	22-1935	
	如月会	梅本 幸仙	33-3425	
	鶴岡和紙ちぎり絵サークル	小澤 紀美	24-6701	
	庄内写真研究会	佐藤 時彦	24-3285	
	鶴岡さつき盆栽研究会	岡部 誠	24-7844	
	フォトサロン写楽	岡崎 利男	22-2803	
	書道研究飛雲会	渡部 飛雲	22-2344	
	K・I・Y	山澤 昭彦	22-1784	
	邦楽	錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部	市川 清治	23-6775
		宝生流鶴岡五雲会	上林 清一	22-1501
山形県大正琴・文化箏愛好会		梅津 芳春	22-0770	
鶴岡竹友会		佐藤 晃	23-9028	
高橋理香箏アンサンブル		高橋 理香	090-9425-8824	
荘内竹道会		渡部 滋人	23-9139	
庄内謡曲愛好会		相馬 一廣	64-4791	
日舞	佳興の会	岡 政雄	23-3074	
	藤静会	藤間 静貴久	22-1746	
	柏樹流	柏樹 京徳	24-3684	
	千川流	千川 貴楽	0234-24-4516	

地域・部門	団体名称	代表者	電話
民謡・民舞	さゞ波会	佐藤 睦	35-3115
	淡井会	山本 淡井	24-5447
吟詠	日本九重流鶴岡清吟会	松本 歆洲	23-9538
	九重流詩吟学会朝陽清吟会	百瀬 皓洲	23-1344
	剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会	佐藤 昌直	23-8510
民俗芸能	田川民話の会	帯刀 春男	53-2617
洋楽	鶴岡土曜会混声合唱団	阿部 淳二	23-9997
	鶴岡放送児童合唱団	伴 和香子	22-6399
	バウムクーヘン	中澤 牧子	64-2779
	スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ	橋本 祥造	25-0702
	男声合唱団デザミ・アンティム <small>事務局</small>	阿部 純士	22-1058
	鶴岡吹奏楽団	大場 輝和	33-1000
	鶴岡響友会吹奏楽団	堀 公明	22-5602
	鶴岡ジュニアオーケストラ	深澤 康之	22-9484
	鶴岡ウインドオーケストラ	加藤 聡	25-3227
	鶴岡江戸川交流合唱団	滝沢 元	25-2532
洋舞	アンサンブル・チコーニア	安田 淳子	62-3961
	吉続舞踊学園	吉續 正義	22-5968
	V i V i バレエスタジオ	佐藤 京子	22-1667
	ハウオリフラススタジオ	ハウオリマルヤマ	090-5833-4083
演劇	劇団いでは	大館 一治	53-3052
	劇団だいこん座	佐藤 秀樹	23-5735
	表現舎刻一刻	佐藤 正一	73-3153
	◎出羽庄内市民ミュージカル	高山 千代子	64-2717
茶道	大日本茶道学会鶴岡支部	熊田 広樵	22-1256
	裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区	小林 宗健	22-9948
	表千家同門会山形県支部庄内地区	豊田 宗文	64-2441
	遠州流茶道山形支部	堀 宗敬	73-2148
華道	古流松應会庄内支部	古本 理暁	24-6590
	一般財団法人 小原流鶴岡支部	宮田 眞由美	62-2884
	草月流山形県支部鶴岡地区	加藤 千香	0234-22-0610
	池坊	佐藤 瑞峯	25-2590
	遠州山形支部	中野 美千	22-7757
	龍生派	飯田 洛翠	66-2304
	華道栖草流鶴岡支部	庄司 栖和	23-8704

◎印は新規加盟団体

(令和3年9月1日現在)

編集後記

2年ぶりの開催となる鶴岡市芸術祭は、
 荘銀タクト鶴岡大ホールで新しい企画内
 容で行うことで計画していた。新型コロナ
 ナウイルス感染防止対策で規模を縮小し、
 開幕式典は小ホールに会場を変更して開
 催、記念公演は延期となった。実行委員
 会を組織して万全の態勢で準備していた
 ので残念でならない。芸術祭の各団体で
 の公演では各々感染防止対策を徹底し
 て行われており、このような対策が必要
 ない日が早く訪れる事を祈る次第である。
 鶴岡市文化芸術推進基本計画が策定さ
 れ、今後5年間の文化芸術活動の計画が
 示された。各分野での計画の基に活動
 を一層盛り上げ、心豊かな、いのち輝く
 鶴岡市を目指してゆきたい。

(小林健郎)

事務局よりお知らせ

FAX番号が新しくなりました。新FAX番号 0235-64-0515

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会事務局
 〒997-0346 鶴岡市上山添字文栄100番地 鶴岡市櫛引庁舎内
 Tel : 0235-57-2008 E-mail : tsuruageibun@tiara.ocn.ne.jp

<https://tsuruoka-geibun.or.jp>

トップ画面のQRコード

